

9 介護

(1) 要介護認定の状況

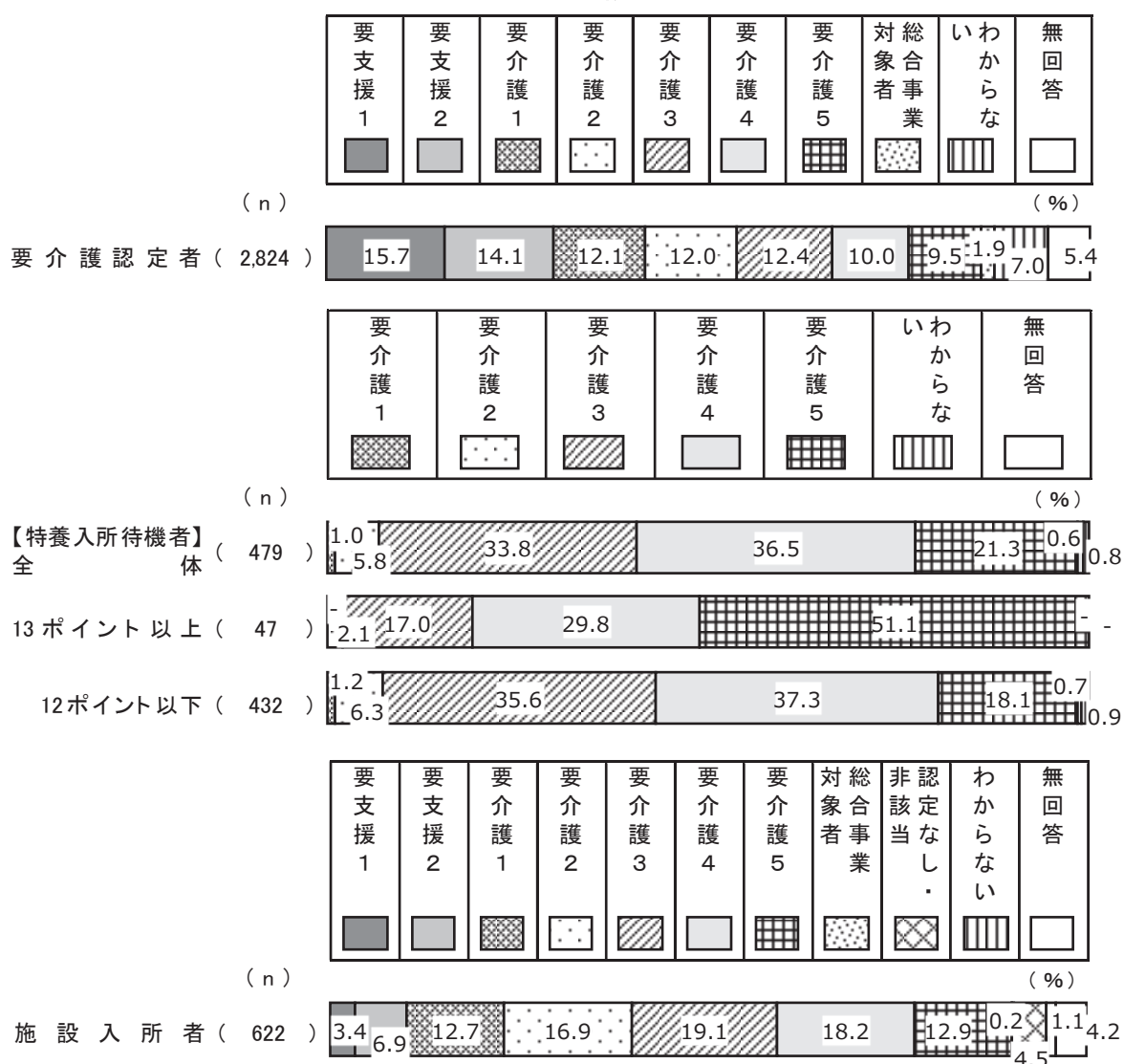
① 要介護度

○要介護認定者では「総合事業対象者」「要支援1」「要支援2」を合わせた“要支援等”が31.7%、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が24.0%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が31.8%となっている。

○特養入所待機者では、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が6.9%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が91.6%となっている。

○施設入所者では、「総合事業対象者」「要支援1」「要支援2」を合わせた“要支援等”が10.5%、「要介護1」「要介護2」を合わせた“軽度”が29.6%、「要介護3」「要介護4」「要介護5」を合わせた“中重度”が50.2%となっている。

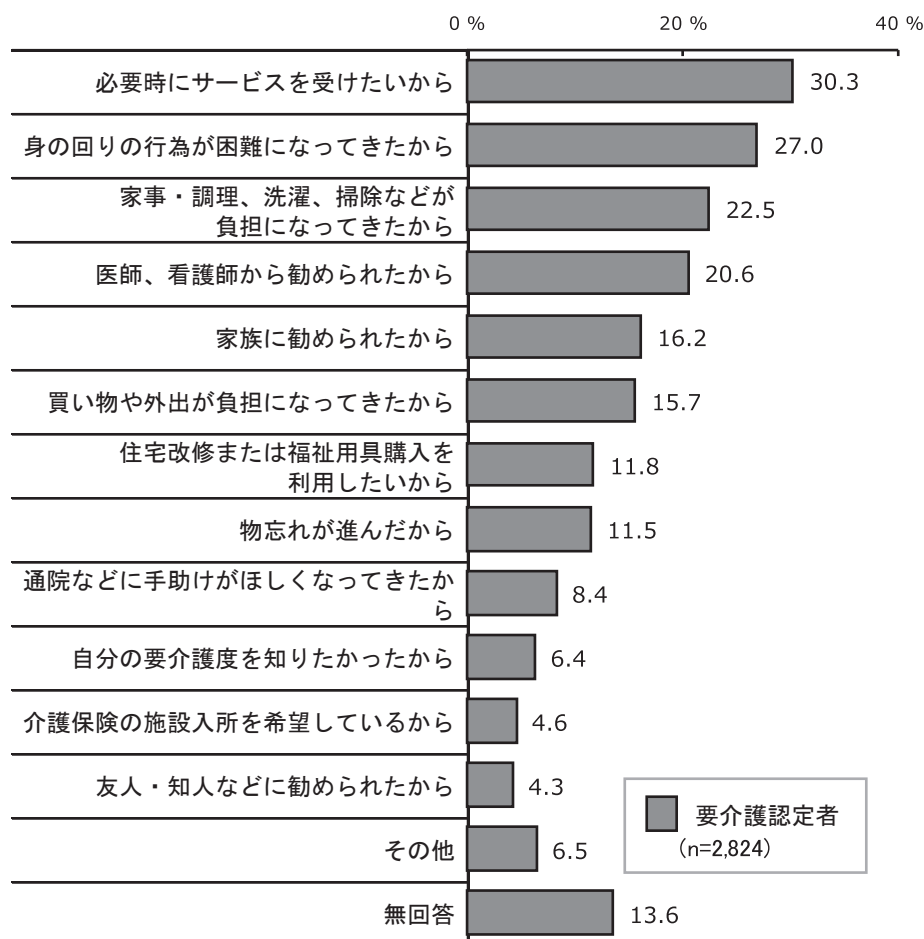
■要介護度



② 要介護認定を申請した理由

○要介護認定を申請した理由は、「必要時にサービスを受けたいから」が最も高く 30.3%、次いで「身の回りの行為が困難になってきたから」（27.0%）、「家事・調理、洗濯、掃除などが負担になってきたから」（22.5%）と続いている。

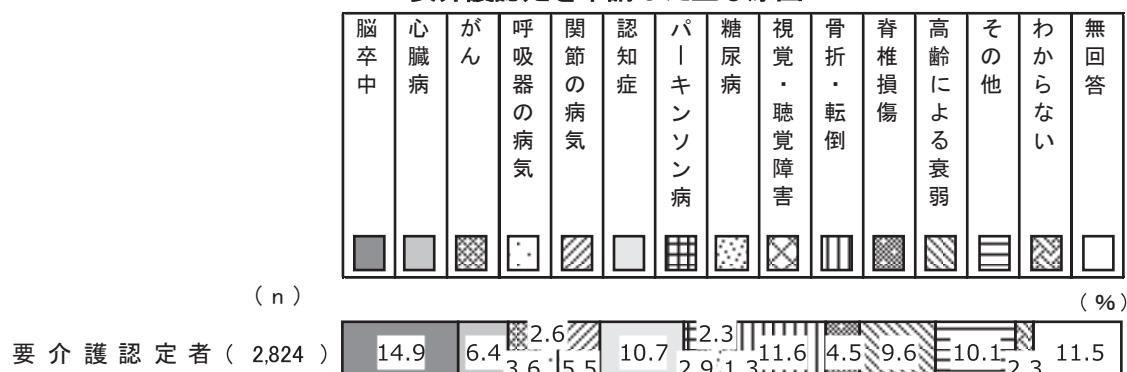
■要介護認定を申請した理由（○は3つまで）



③ 要介護認定を申請した主な原因

○要介護認定を申請した主な原因は、「脳卒中」が 14.9%、「骨折・転倒」が 11.6%、「認知症」が 10.7%となっている。

■要介護認定を申請した主な原因

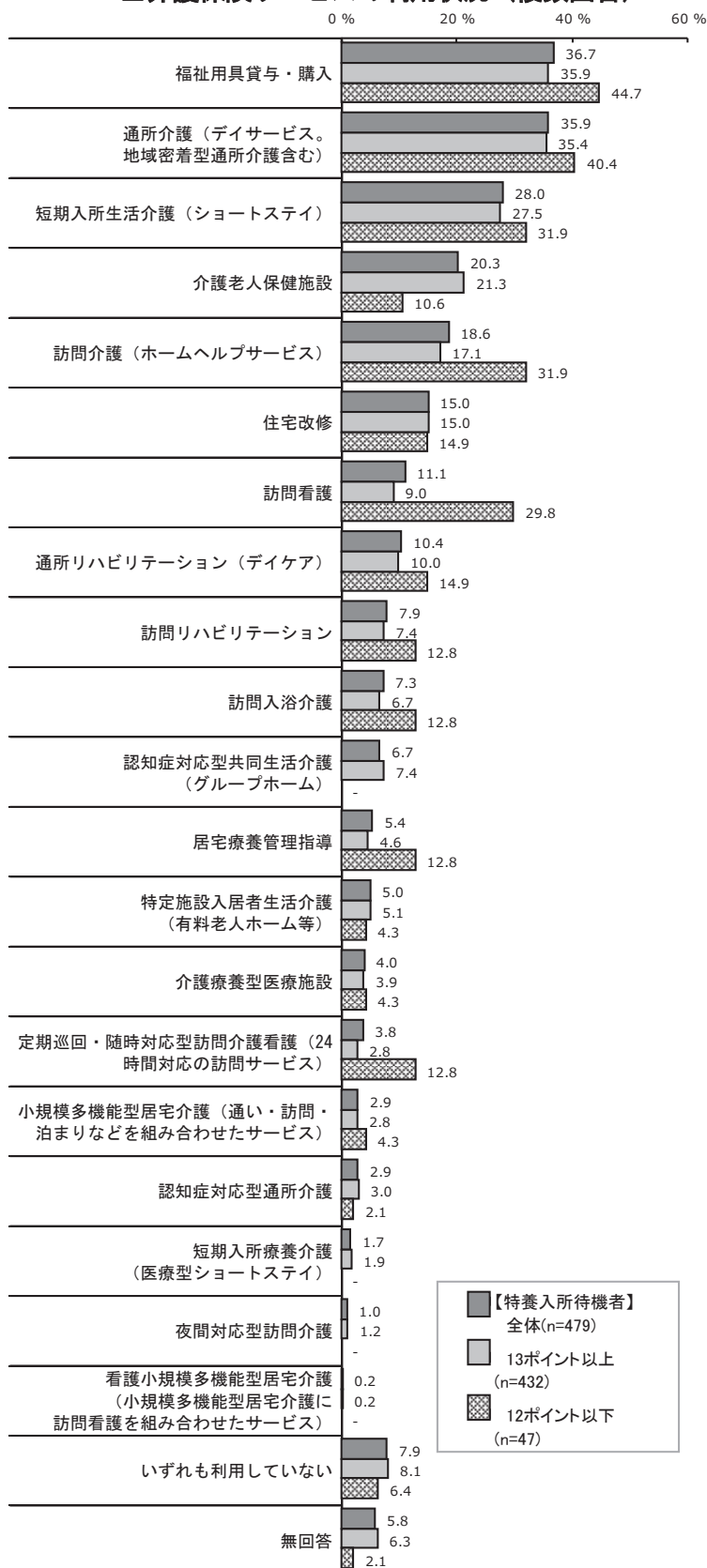


(2) 介護保険サービス

① 介護保険サービスの利用状況

○特養入所待機者では、「福祉用具貸与・購入」が最も高く 36.7%、次いで「通所介護（デイサービス。地域密着型通所介護含む）」が 35.9%、「短期入所生活介護（ショートステイ）」が 28.0%と続いている。

■介護保険サービスの利用状況（複数回答）

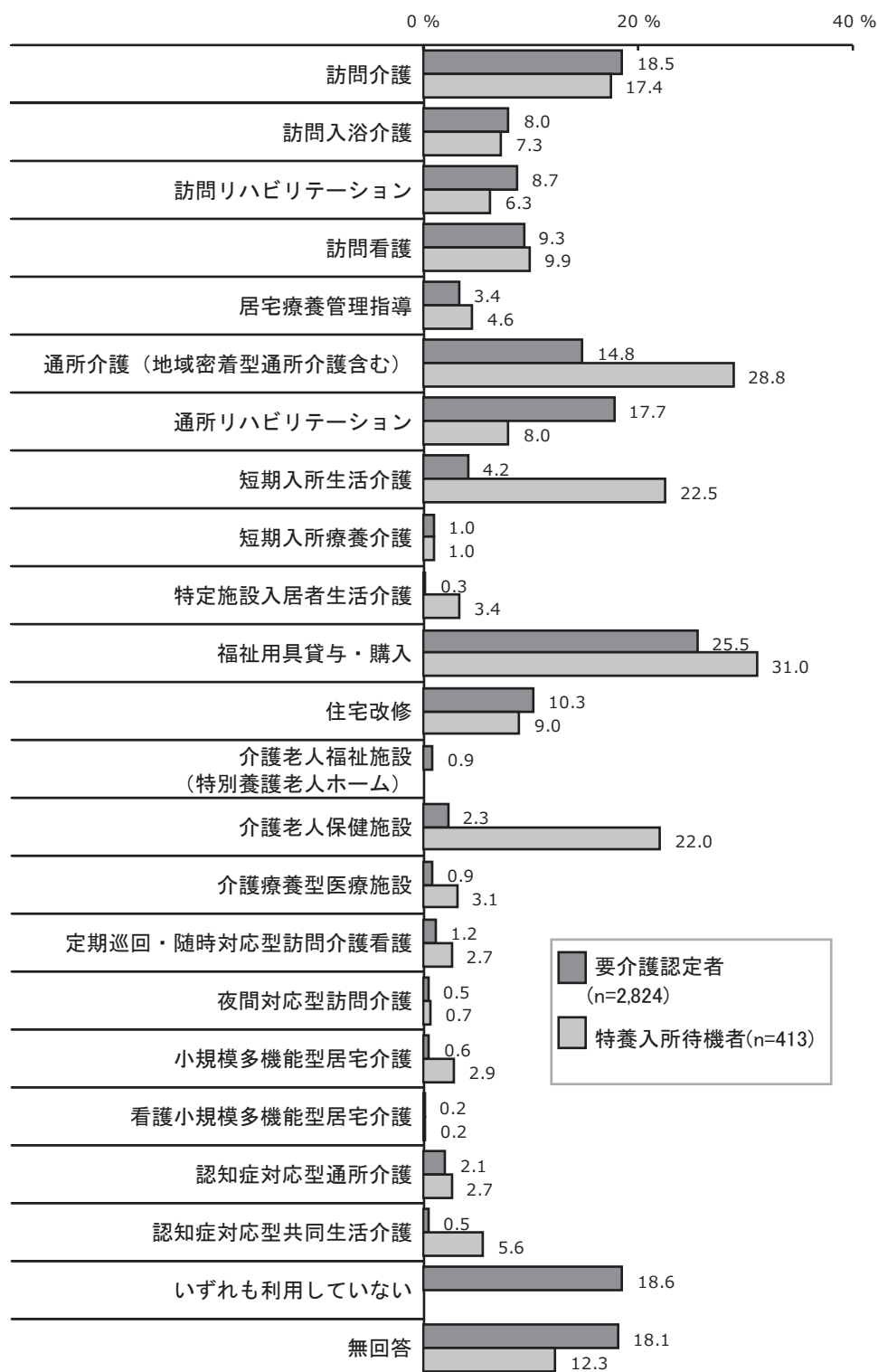


② 満足している介護保険サービス

○要介護認定者の満足している介護保険サービスは、「福祉用具貸与・購入」(25.5%)、「訪問介護」(18.5%)となっている。

○介護保険サービスの利用状況で“いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した特養入所待機者の満足している介護保険サービスは、「福祉用具貸与・購入」(31.0%)、「通所介護(地域密着型通所介護含む)」(28.8%)となっている。

■満足している介護保険サービス(複数回答)

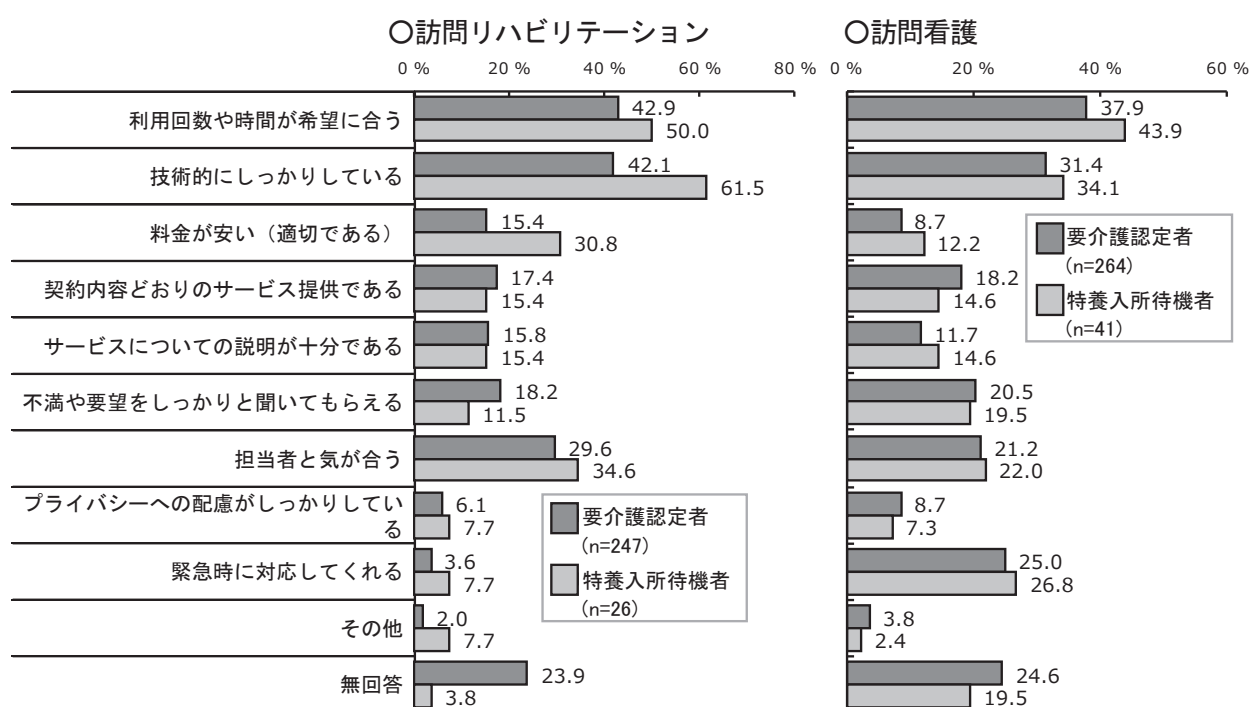
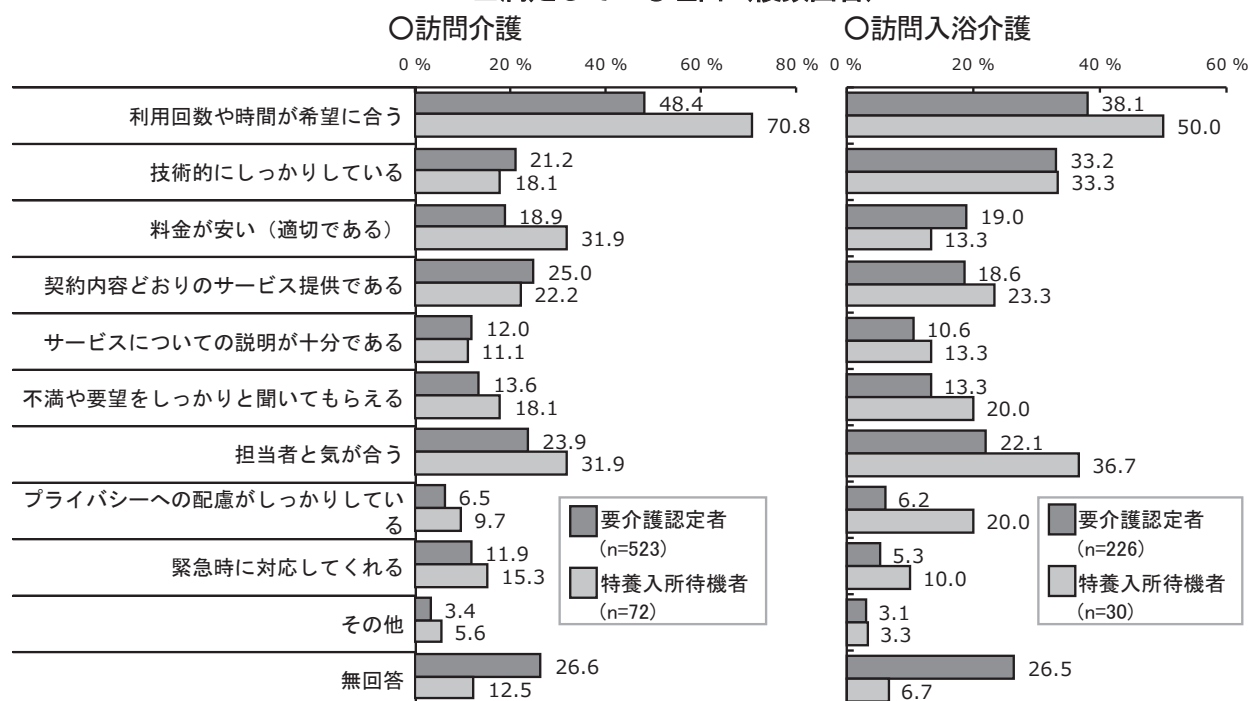


※ 「介護老人福祉施設」「いずれも利用していない」は要介護認定者のみ聞いている

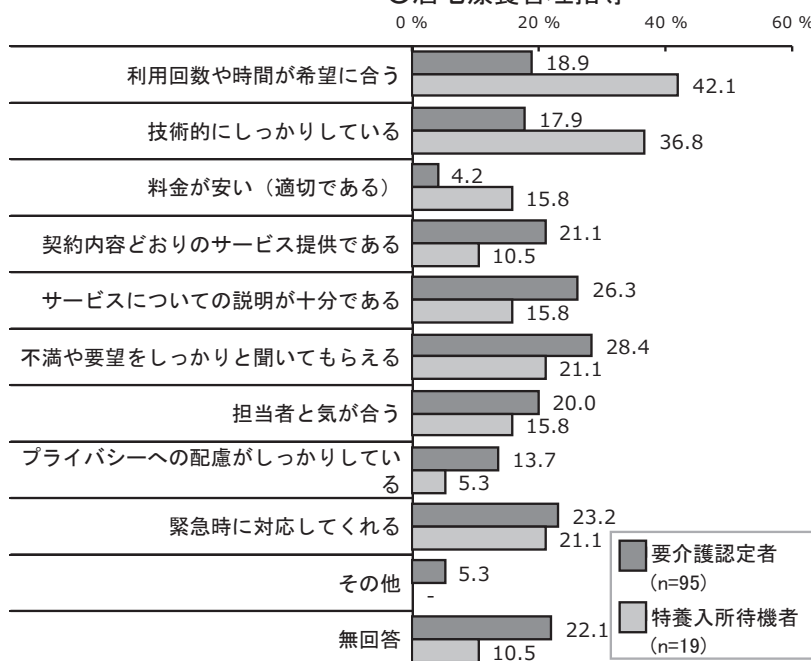
③ 満足している理由

○要介護認定者の満足している介護保険サービスの理由は、“訪問介護” “訪問入浴介護” “訪問リハビリテーション” “訪問看護” “通所介護” “通所リハビリテーション” “短期入所生活介護” では「利用回数や時間が希望に合う」が高い。“福祉用具貸与・購入” “住宅改修” では「料金が安い（適切である）」が高い。

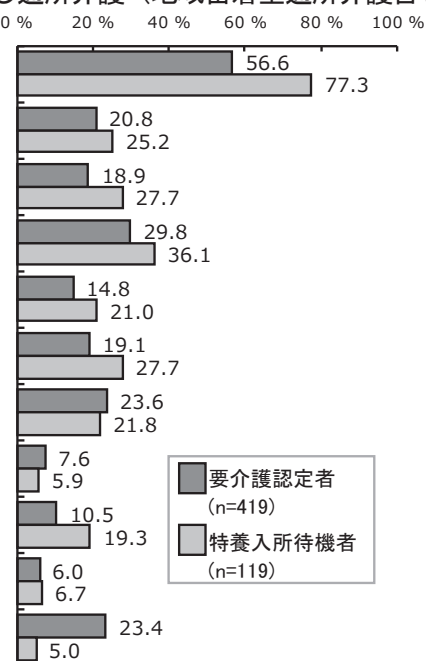
■満足している理由（複数回答）



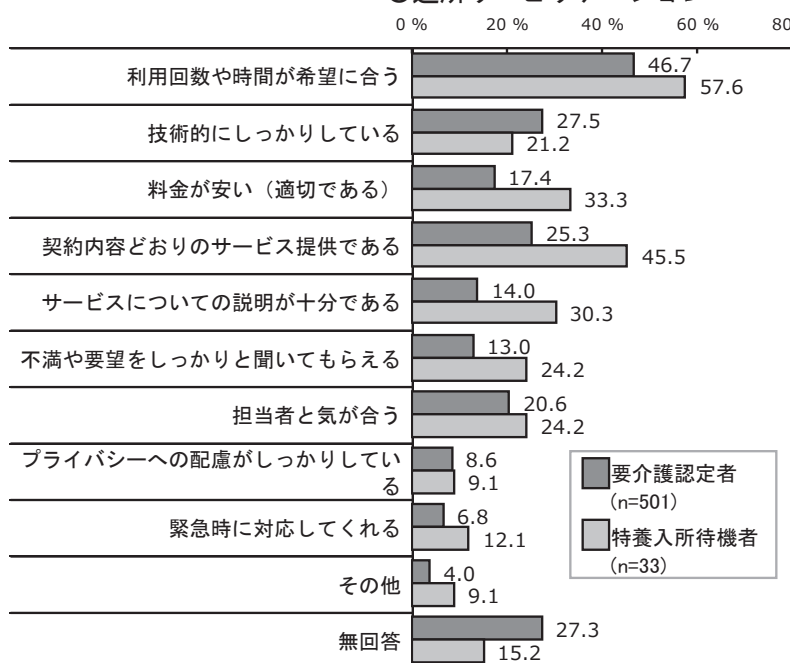
○居宅療養管理指導



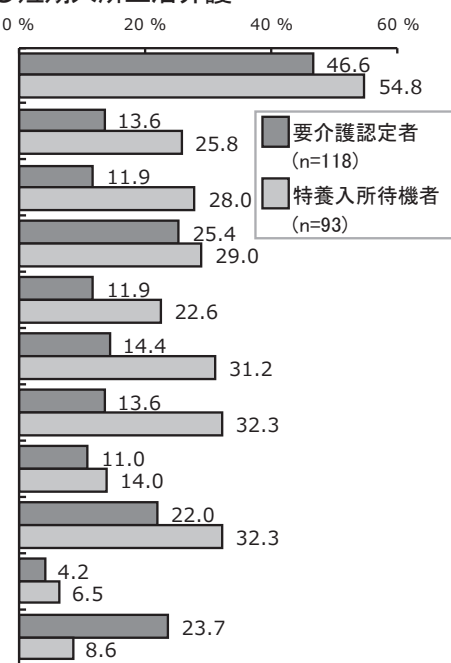
○通所介護（地域密着型通所介護含む）



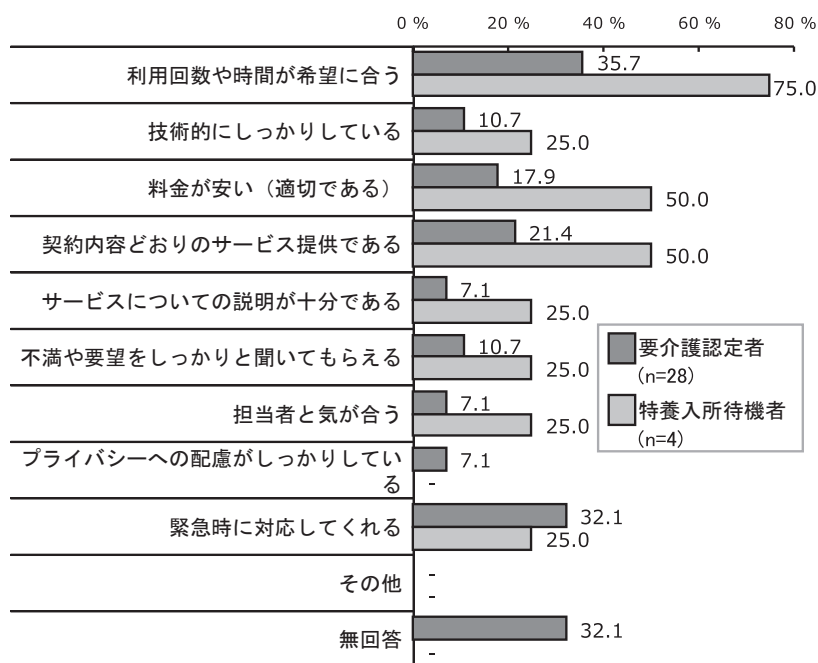
○通所リハビリテーション



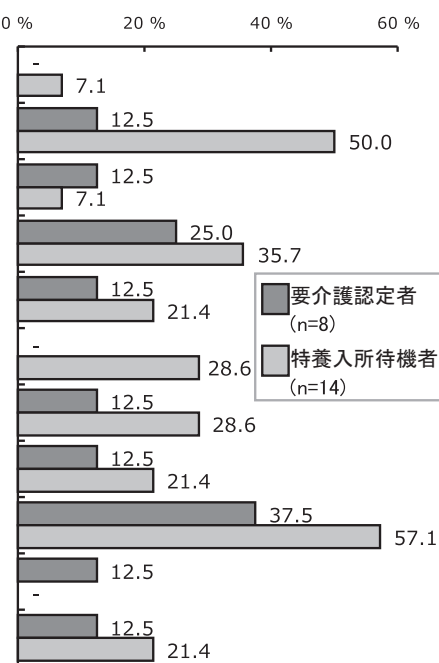
○短期入所生活介護



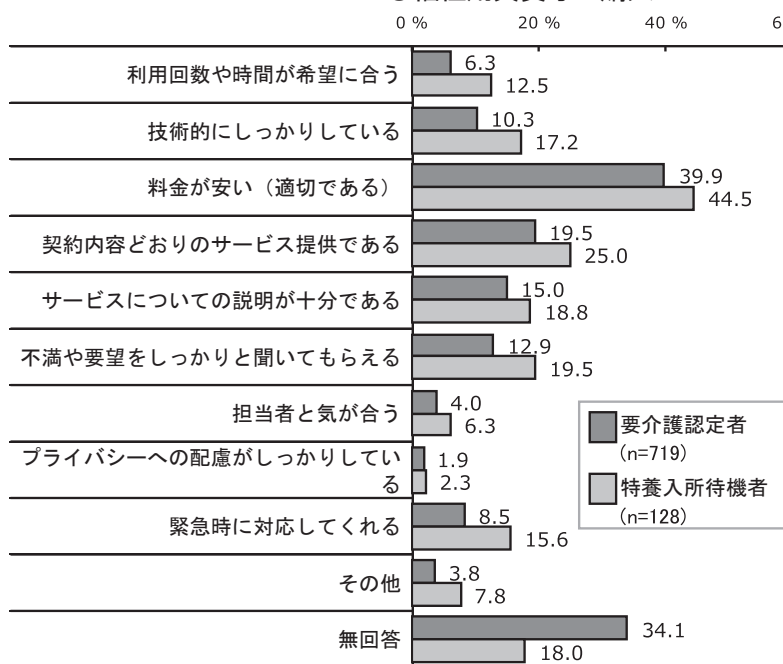
○短期入所療養介護



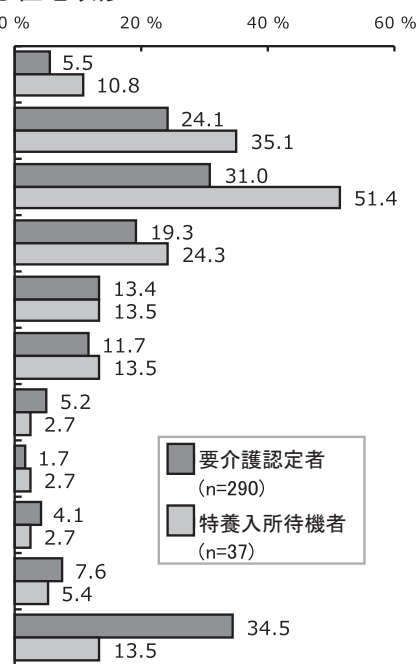
○特定施設入居者生活介護



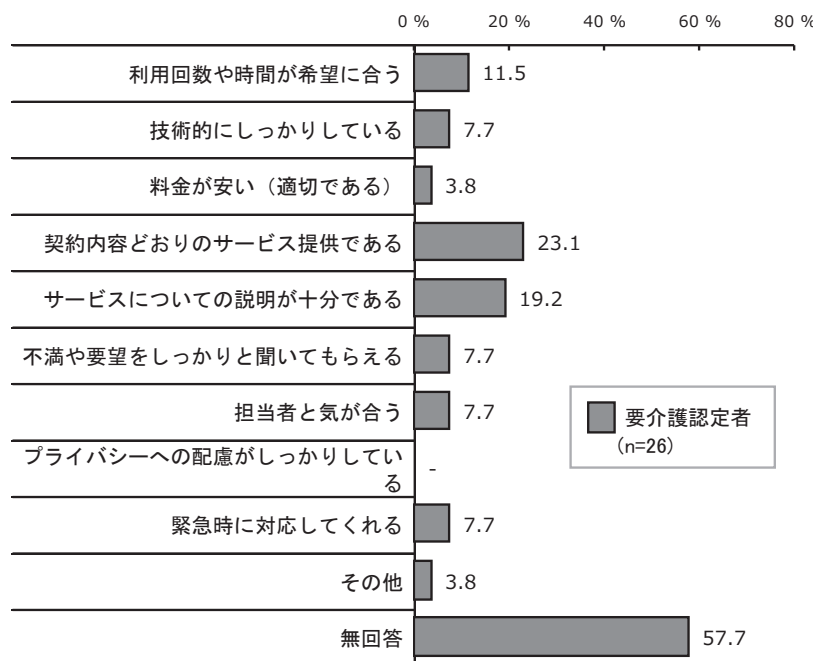
○福祉用具貸与・購入



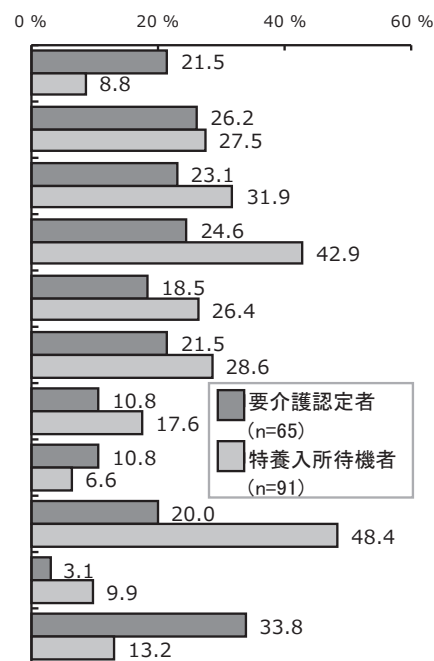
○住宅改修



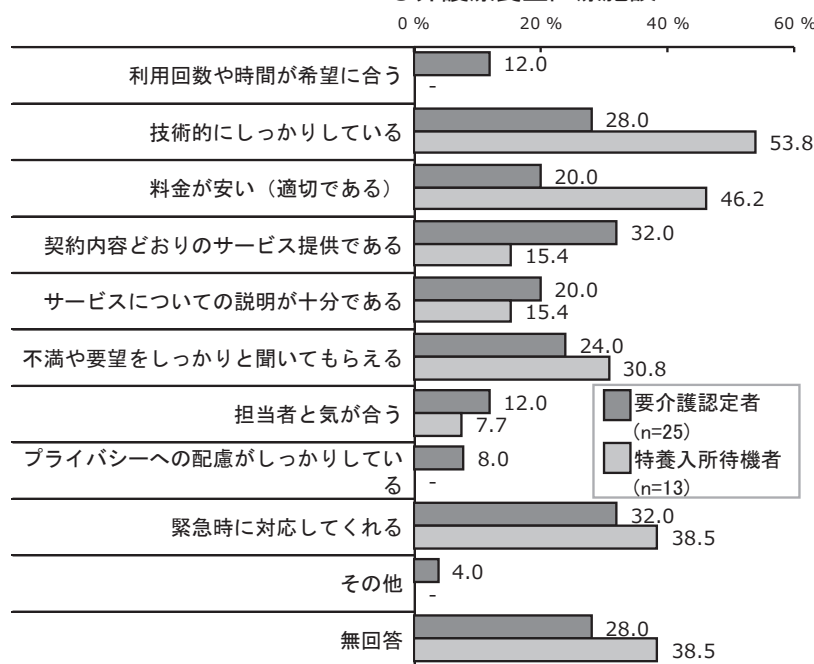
○介護老人福祉施設



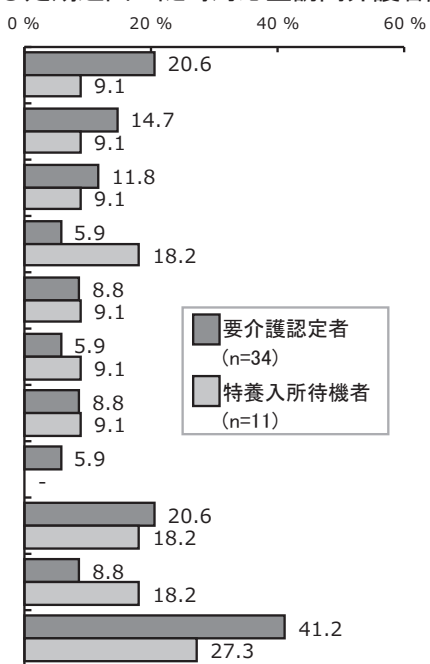
○介護老人保健施設



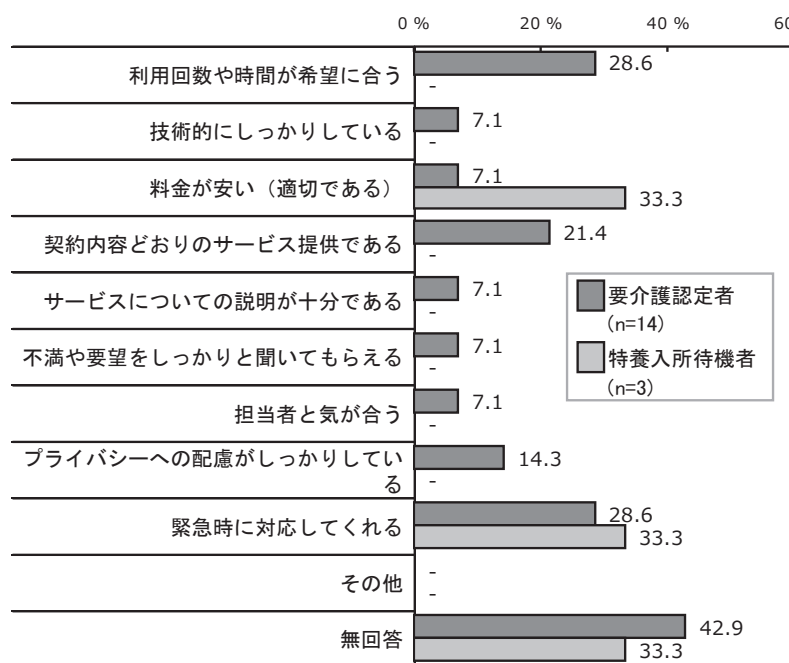
○介護療養型医療施設



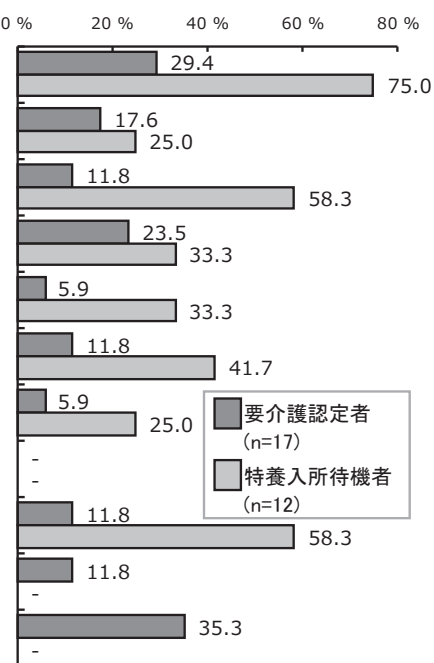
○定期巡回・随時対応型訪問介護看護



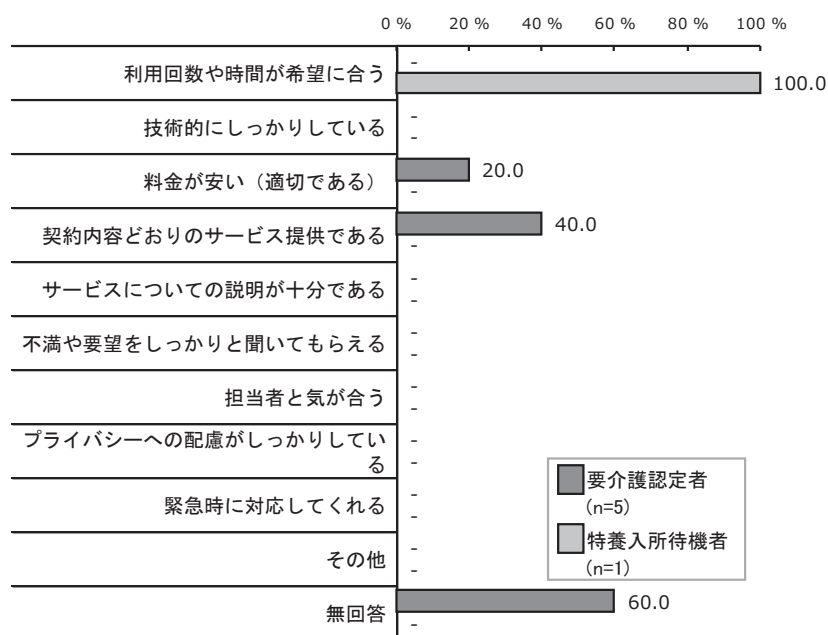
○夜間対応型訪問介護



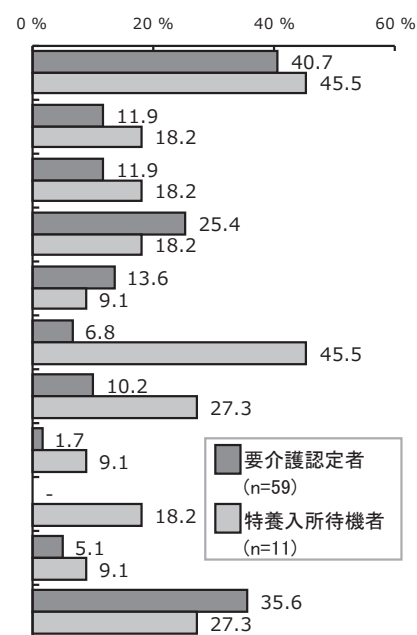
○小規模多機能型居宅介護



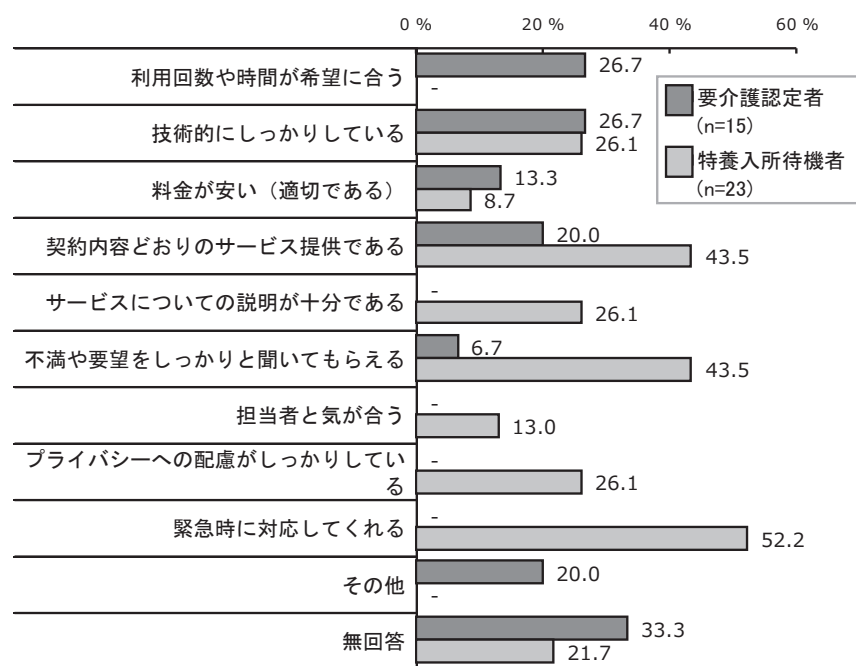
○看護小規模多機能型居宅介護



○認知症対応型通所介護



○認知症高齢者グループホーム

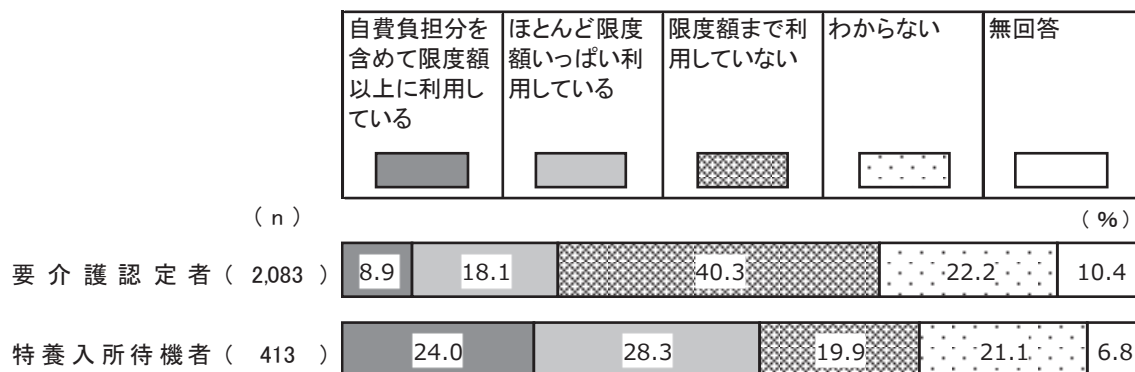


(3) 支給限度額に対する介護サービスの利用

① 支給限度額に対する介護サービスの利用状況

- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人の利用状況は、要介護認定者では「限度額まで利用していない」が最も高く 40.3%となっている。
- 特養入所待機者では、“支給限度額まで利用している人”（「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」と「ほとんど限度額いっぱい利用している」の合計）が5割を超えている。

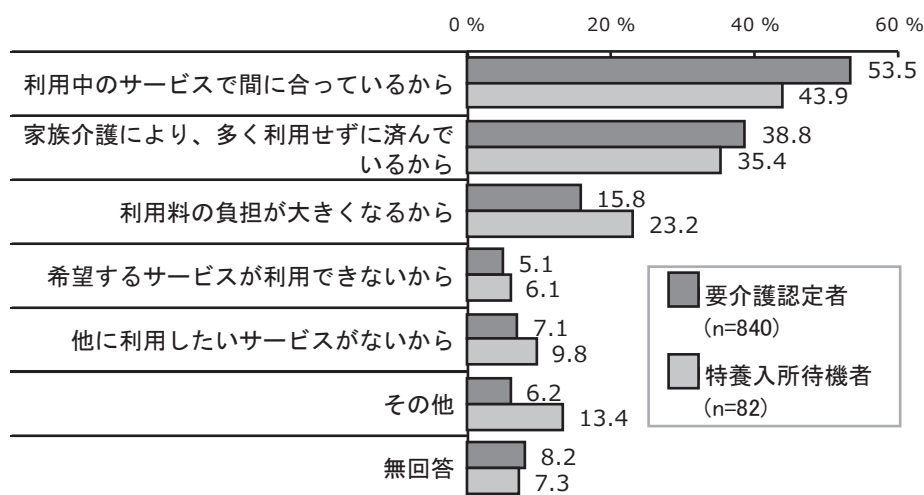
■支給限度額に対する介護サービスの利用状況



② 支給限度額まで利用していない理由

- 支給限度額に対する介護サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の支給限度額まで利用していない理由は、要介護認定者、特養入所待機者ともに「利用中のサービスで間に合っているから」が最も高い。

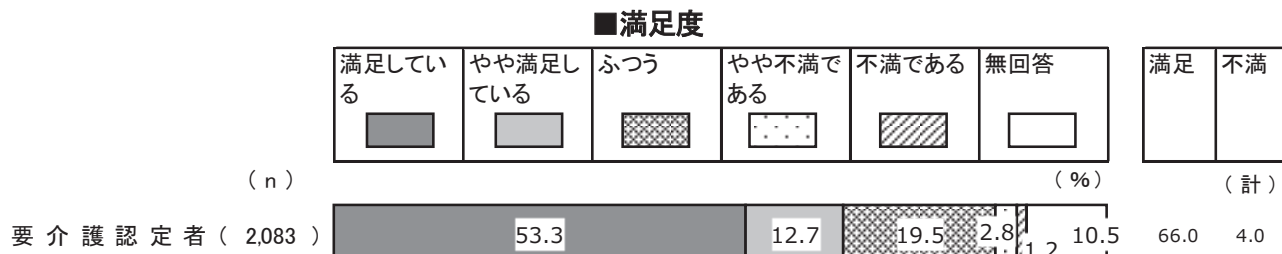
■支給限度額まで利用していない理由（複数回答）



(4) ケアマネジャーに対する満足度

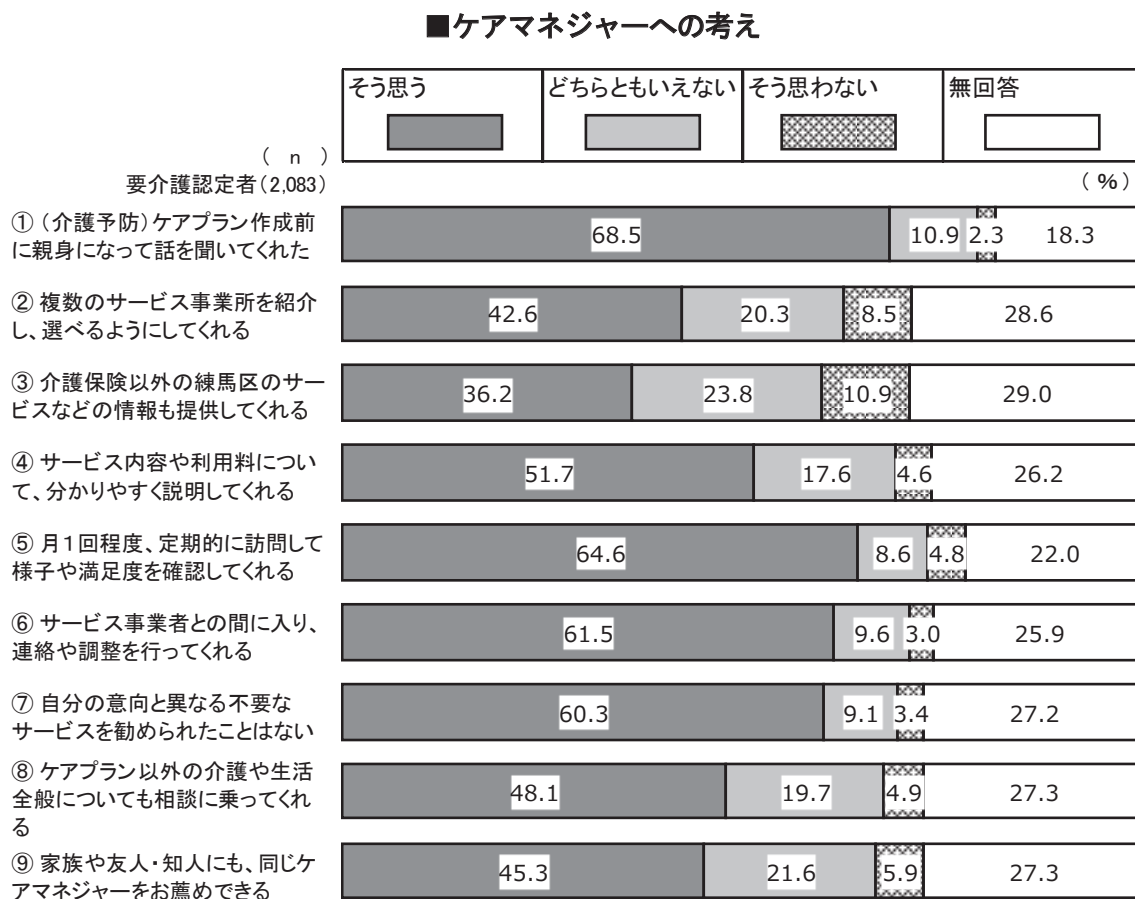
① 満足度

- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人にケアマネジャーの満足度を聞いたところ、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）は66.0%で、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）の4.0%を大きく上回っている。



② ケアマネジャーへの考え

- “いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人のうち、『①（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた』『⑤月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる』『⑥サービス事業者との間に入り、連絡や調整を行ってくれる』『⑦自分の意向と異なる不要なサービスを勧められたことはない』は、「そう思う」が6割を超えている。

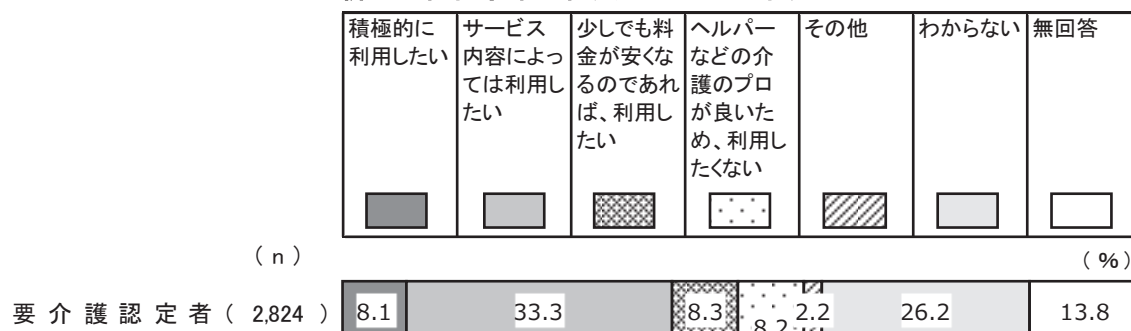


(5) 新しい総合事業の住民サービスの利用意向

○「サービス内容によっては利用したい」が33.3%で最も高い。

○一方で、「わからない」が26.2%となっている。

■新しい総合事業の住民サービスの利用意向



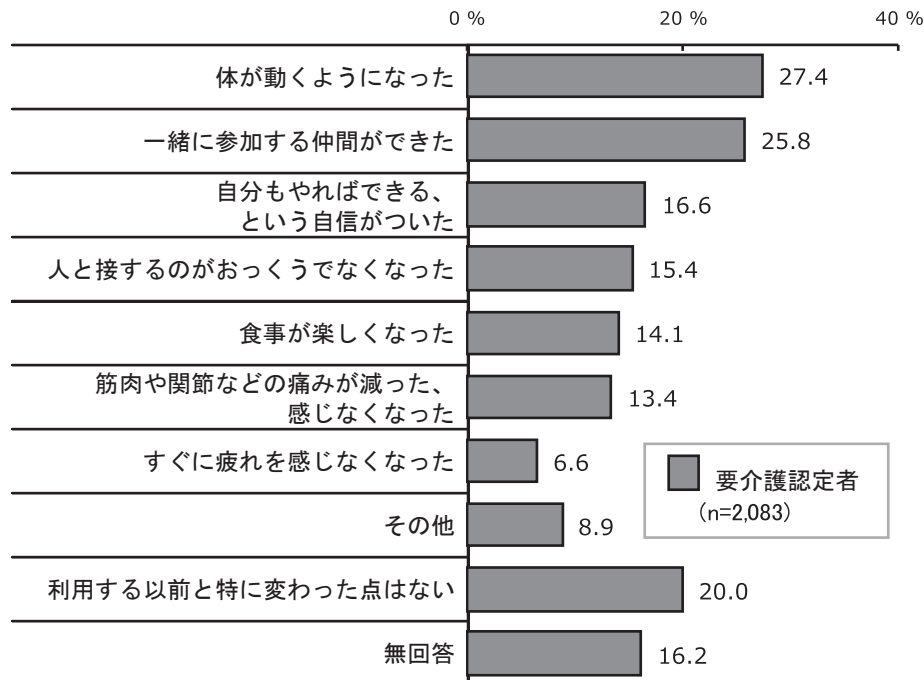
（６）介護保険サービスの利用による変化

① 介護保険サービス利用後の変化

○“いずれかの介護保険サービスを利用している”と回答した人の介護保険サービス利用後の変化は、「体が動くようになった」が最も高く 27.4%、次いで「一緒に参加する仲間ができた」（25.8%）と続いている。

○一方、「利用する以前と特に変わった点はない」は2割となっている。

■介護保険サービス利用後の変化（複数回答）



【経年比較】

○平成 25 年度調査結果と比較すると、平成 28 年度は「体が動くようになった」が3割近くと高い。

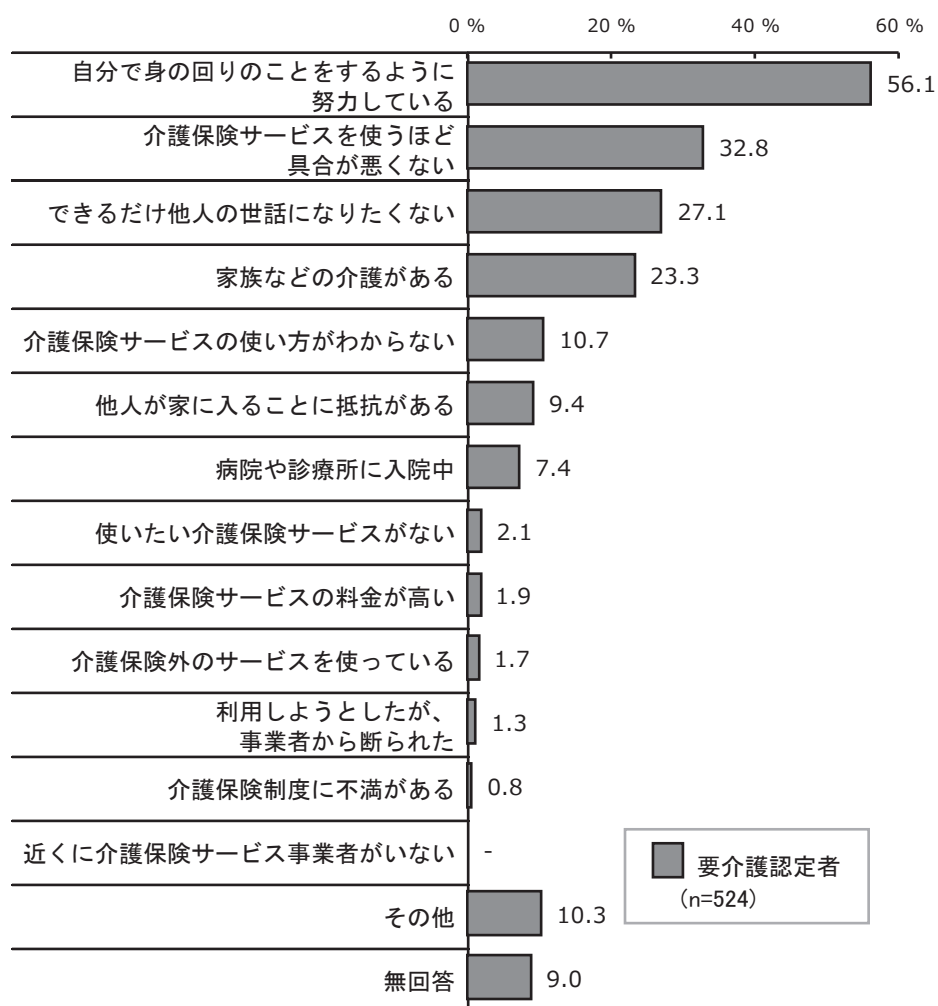
■介護保険サービス利用後の変化（複数回答）＜要介護認定者：経年比較＞

		(%)									
	n	体が動くようになった	一緒に参加する仲間ができた	自分もやればできる、という自信がついた	人と接するのがおっくうでなくなった	食事が楽しくなった	筋肉や関節などの痛みが減った、感じなくなった	すぐに疲れを感じなくなった	その他	利用する以前と特に変わった点はない	無回答
平成28年度	2,083	27.4	25.8	16.6	15.4	14.1	13.4	6.6	8.9	20.0	16.2
平成25年度	1,142	22.6	23.7	12.0	14.5	11.5	9.9	4.9	11.1	23.4	13.7

② 介護保険サービスを利用していない理由

○満足している介護保険サービスで「いずれも利用していない」と回答した人のサービスを利用していない理由は、「自分で身の回りのことをするように努力している」が最も高く 56.1%、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」が 32.8%、「できるだけ他人の世話になりたくない」が 27.1%、「家族などの介護がある」が 23.3%と続いている。

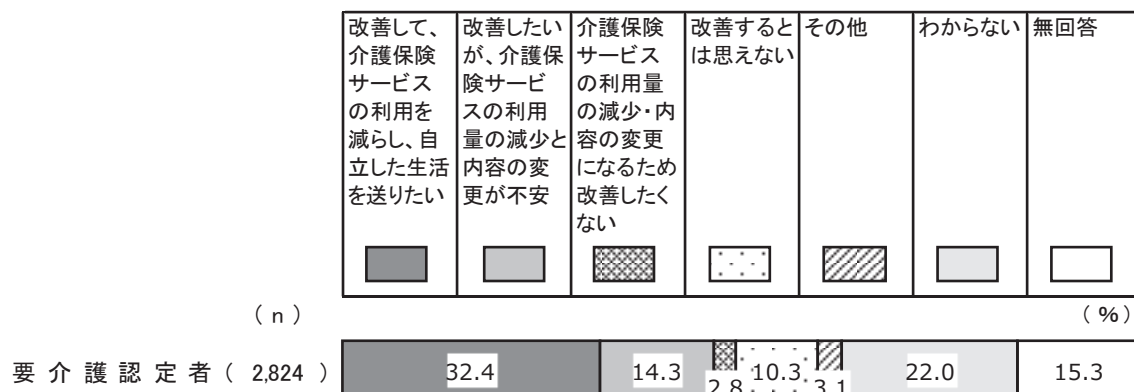
■介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）



③ 要介護度の改善に対する考え

○「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が32.4%、「改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安」が14.3%、「介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない」が2.8%、「改善するとは思えない」が10.3%、「わからない」が22.0%となっている。

■要介護度の改善に対する考え



【要介護認定者】

○年代別にみると、『前期高齢者』は「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が4割超で、『後期高齢者』（約3割）と比べて高く、改善に対する意欲が高いことが伺える。

■要介護度の改善に対する考え＜要介護認定者：年代＞

		改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安	介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない	改善するとは思えない	その他	わからない	無回答
	n							
要介護認定者	2,824	32.4	14.3	2.8	10.3	3.1	22.0	15.3
前期高齢者(65-74歳)	401	42.1	13.2	2.5	8.5	3.0	21.2	9.5
後期高齢者(75歳以上)	2,328	30.8	14.9	2.8	10.5	3.2	22.2	15.5

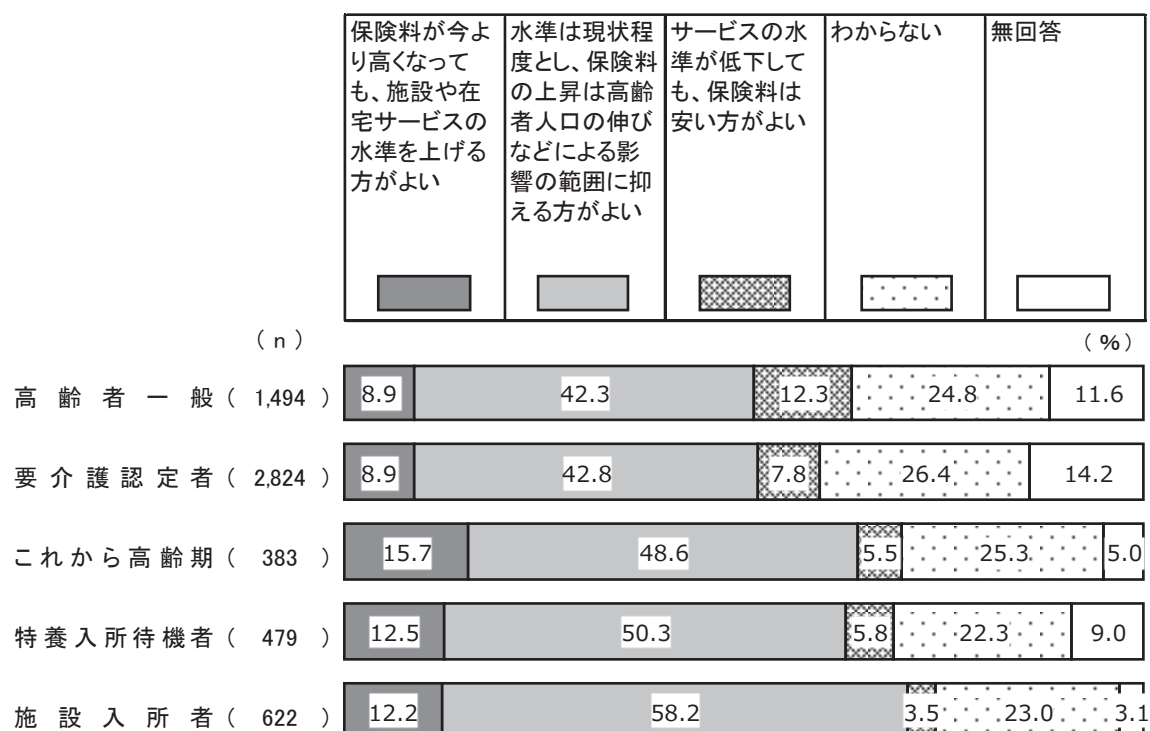
(7) 介護保険料と介護サービスの利用料

① 介護保険サービスと保険料についての考え

○いずれの調査においても、「水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい」が最も高く、4割超～6割近くとなっている。

○一方で、いずれの調査においても「わからない」が2割を超えている。

■介護保険サービスと保険料についての考え



【高齢者一般】

○経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』『ふつう』は「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい」が1割未満であるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』は2割超となっている。

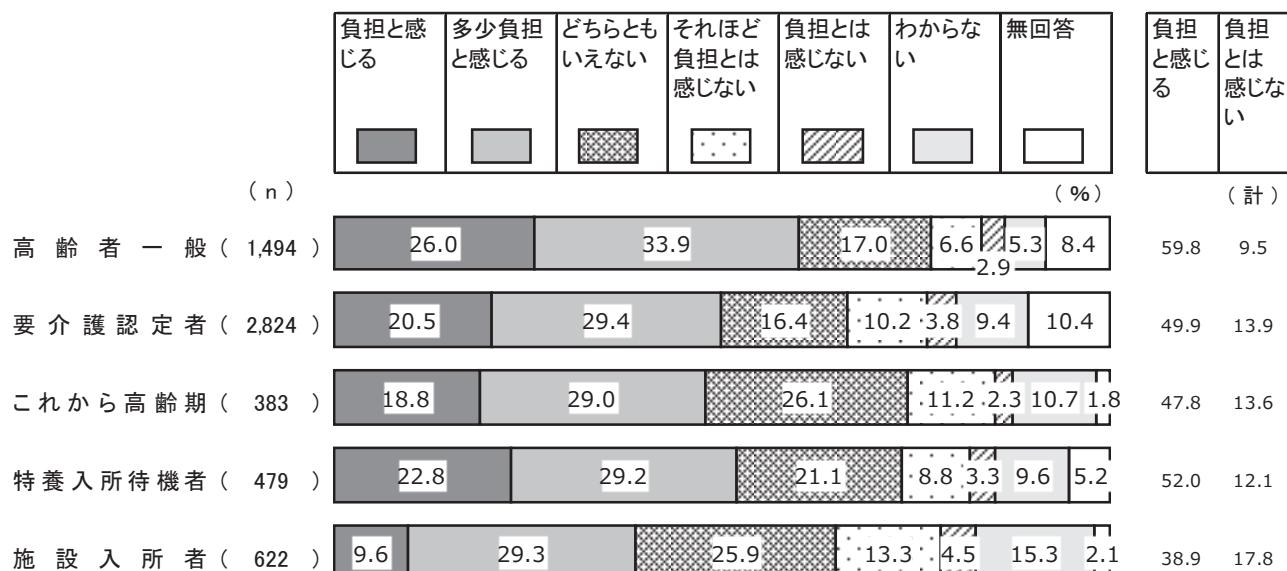
■介護保険サービスと保険料についての考え＜高齢者一般：経済状況別＞

	(n)	保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を上げる方がよい	水準は現状程度とし、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑える方がよい	サービスの水準が低下しても、保険料は安い方がよい	わからない	無回答
高齢者一般	1,494	8.9	42.3	12.3	24.8	11.6
苦しい・大変苦しい	541	4.6	37.9	17.4	27.5	12.6
ふつう	747	9.4	47.0	9.0	24.4	10.3
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	22.0	40.0	9.3	19.3	9.3

② 介護保険料の負担感

○いずれの調査においても、“負担とを感じる”（「負担とを感じる」と「多少負担とを感じる」の合計）が“負担とは感じない”（「負担とは感じない」と「それほど負担とは感じない」の合計）を上回っており、高齢者一般が 59.8%、要介護認定者が 49.9%、これから高齢期が 47.8%、特養入所待機者が 52.0%、施設入所者が 38.9%となっている。

■介護保険料の負担感



【高齢者一般】

○経済状況別にみると、高齢者一般では『苦しい・大変苦しい』は“負担とを感じる”が7割半ばであるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では4割近くにとどまっている。

■介護保険料の負担感＜高齢者一般：経済状況別＞

(%)									(計)	
		負担と 感じる	多少 負担と 感じる	どちら ともい え	それ ほど 負担と は感 じな い	負担 とは 感 じ な い	わ か ら な い	無 回 答	負担 と 感 じ る	負担 と は 感 じ な い
	n									
高齢者一般	1,494	26.0	33.9	17.0	6.6	2.9	5.3	8.4	59.8	9.5
苦しい・大変苦しい	541	42.5	31.6	9.6	1.1	0.9	5.4	8.9	74.1	2.0
ふつう	747	17.3	37.3	21.0	8.8	2.9	4.8	7.8	54.6	11.8
ややゆとりがある・ゆとりがある	150	12.7	26.0	24.0	16.0	10.7	4.7	6.0	38.7	26.7

【要介護認定者】

○経済状況別にみると、要介護認定者では『苦しい・大変苦しい』は“負担とを感じる”が6割半ばであるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では3割近くにとどまっている。

■介護保険料の負担感＜要介護認定者：経済状況別＞

介護保険料の負担感＜要介護認定者：経済状況別＞									(%)	(計)
	n	負担と 感じる	多少 負担と 感じ	どちら ともい え	それ ほど負 担と 感じ ない	負担 とは 感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	負担 と 感 じ る	負担 と は 感 じ な い
要介護認定者	2,824	20.5	29.4	16.4	10.2	3.8	9.4	10.4	49.9	13.9
苦しい・大変苦しい	1,097	32.6	32.7	9.9	3.6	1.8	8.6	10.8	65.4	5.4
ふつう	1,420	13.4	28.4	21.3	13.5	3.8	10.1	9.5	41.8	17.3
ややゆとりがある・ゆとりがある	214	7.5	20.1	20.6	25.2	13.6	7.5	5.6	27.6	38.8

③ 介護サービス利用料の負担感

○いずれの調査においても、“負担と感じる”が“負担とは感じない”を上回っており、要介護認定者が31.7%、特養入所待機者が45.5%、施設入所者が33.1%となっている。

■介護サービス利用料の負担感

	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない
	(n)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(計)	(計)
要介護認定者(2,824)	10.2	21.4	19.0	13.0	4.2	19.2	12.9	31.7	17.2
特養入所待機者(479)	16.3	29.2	24.2	9.0	2.7	11.9	6.7	45.5	11.7
施設入所者(622)	8.8	24.3	24.3	13.8	4.8	19.0	5.0	33.1	18.6

【要介護認定者】

○経済状況別にみると、『苦しい・大変苦しい』は“負担と感じる”が4割半ばであるのに対し、『ややゆとりがある・ゆとりがある』では1割超にとどまっている。

■介護サービス利用料の負担感＜要介護認定者：経済状況別＞

	(n)	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない
	n	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(計)	(計)
要介護認定者	2,824	10.2	21.4	19.0	13.0	4.2	19.2	12.9	31.7	17.2
苦しい・大変苦しい	1,097	18.4	26.8	15.8	6.3	1.5	18.4	12.9	45.2	7.7
ふつう	1,420	5.4	18.9	22.2	16.3	4.9	20.0	12.4	24.3	21.1
ややゆとりがある・ゆとりがある	214	1.9	11.7	17.3	29.9	15.0	18.2	6.1	13.6	44.9

(8) 高齢者保健福祉施策や介護保険に関する主な意見・要望（自由回答）

(介護保険料／利用料)

- ・所得のわりに、介護保険料が高いような気がする。いつか払えなくなってしまう。[高齢者一般]
- ・まだ介護保険を使っていないため保険料が高く感じる。例えば、使わない人にポイントをつけるなどの特典があるといい。[高齢者一般]
- ・国の決定事項かもしれないが年金から引かれている介護保険料が高すぎる。[要介護認定者]
- ・介護保険の2割負担が経済的・精神的に負担になっている。年金収入がボーダーラインの少し上であるために2割負担となり、不公平感が残る。[要介護認定者]
- ・年金のみの生活のため、これ以上、介護保険料が上がるのは困る。[要介護認定者]
- ・介護区分が重くなり、金額が上がってしまうのは辛い。[特養入所待機者]

(制度等に対する不安／不満)

- ・介護が必要になった時に問題なく生活が出来るための介護保険制度にしてほしい。[高齢者一般]
- ・現在の使用の仕方（認定の方法）が不公平と感じる。本当に必要な人が困っていて、まだ動ける人が介護サービスを利用している。まず「公平な介護」をお願いしたい。[高齢者一般]
- ・介護認定の申請をし面接を受けたが、その後の認定結果を受けるまでの期間が1か月以上でとても遅い。退院間近になってもなかなか認定結果の通知が来ず、自宅改修が退院直前だった。退院時に必要だった

杖の購入補助は間に合わなかった。[要介護認定者]

- ・現在、通所サービスを受けているが、受けている方のうち、機能回復、健康、体力の維持、増進に取り組んでいる人は2分の1位である。何の目的で通所されているのかと感じる。安易に考えているように思う。サービス提供事業者の基本的なサービスに大きな差がある。認定査定者にも差があり、良い制度だが、区・事業者等、制度の見直しが必要と思う。[要介護認定者]
- ・介護をしてほしいと思っても同居している子どもがいると何もしてもらえない。同居者がいても子どもが仕事の間は一人になるため、考えてほしい。[要介護認定者]
- ・自分のことは自分でやりたいと思っても、なかなかできなくなってくる。それを言い出せない場合もある。そのような人の取りこぼしのないようにしてほしい。[要介護認定者]
- ・高収入者でヘルパーを家政婦のように思っている方がいれば、本当に困っている方が支援を受けず頑張っているなど、矛盾を感じる。[これから高齢期]
- ・元気な時に保険料をきちんと納めているのに、いざ自分がお世話になる何年、何十年先にどのような体制になっているのかを考えると不安になる。家族に迷惑・負担をかけることのない福祉の充実を願っている。[これから高齢期]
- ・システムがややこしく分かりにくい。[特養入所待機者]

(経済的な支援)

- ・高齢者への資金面の支援や生活がスムーズに過ごせるような支援をしてほしい。楽しく元気に毎日が過ごせるような話を訪問かたがたしていただけると大変嬉しい。人の中に入っていけない人達も多くいると思うので、自宅に来て話をしていただけるだけで元気になる、楽しみが増す。[要介護認定者]
- ・お金がないとサービスを受けられない社会はおかしいと思う。もう少し国が負担してほしい。[施設入所者]

(サービス内容)

- ・区内には適切なリハビリ施設が見つからず、現在は遠方まで通っている。[要介護認定者]
- ・本当に受けたいと思うサービスが受けられなかった。床面を掃除することはできても高いところの掃除ができないためお願いしても、それはサービスではできないと断られた。1時間と決められた範囲内で上からのおしきせのようなサービスではなく、今日は何がして欲しいかによるサービスをしていただきたい。また、ヘルパーとの話も、精神的サービスとしてある程度認めてほしい。[要介護認定者]
- ・訪問看護、デイサービス、訪問医が来てくれて急な対応もしてもらっている。ケアマネも相談しやすく、訪看には特にお世話になっている。練馬区は福祉が充実していると思う。[要介護認定者]
- ・個人や状況によって求められる施策は異なってくるため、広く柔軟な対応のとれる組織や運営であってほしい。どこかで線引は必要ではあるが、そして線を引いてしまえば管理するのは楽だが、血の通った運用をしてほしい。[これから高齢期]
- ・介護保険サービスを利用することができて助けられている部分はとても大きく助かっている。しかし、本当に困った時に利用できない事柄も多く感じている。[特養入所待機者]
- ・施設に入ると浮世と縁が切れてしまったようだが、まだ残された時間を有効に使いたい。[施設入所者]

(施設整備)

- ・今、住んでいる住宅が民間賃貸住宅のため、住宅の補助金等をできることなら出してほしい。公営の住宅はなかなか入居できない。[高齢者一般]
- ・私の周りにも一人暮らしの高齢者が多くいる。年金暮らしで、子供達にも迷惑をかけたくないという意見が多い。特別養護老人ホームができるといいのにと話をしている。[高齢者一般]
- ・一人暮らし高齢者が心身ともに生活することが困難になった場合、すぐに受け入れてくれるところがあれば安心して生活できると思う。[要介護認定者]
- ・高齢者が年金以内で、一人ですぐに入居できる住居がほしい。住むところがあれば生活はなんとかできると思うので、住まいが将来の不安である。[これから高齢期]
- ・家族が介護疲れで限界にきており、早急に特別養護老人ホームに入所したい。[特養入所待機者]
- ・特養に申し込んでも、入居可能性など全く情報がない。「あと何か月で可能」というように知らせてほしい。[特養入所待機者]
- ・特別養護老人ホームに容易に受け入れてくれる制度を充実してほしい。[特養入所待機者]

- ・施設だとしても世話をされる一辺倒ではなく、生活者としての暮らしの延長であつたら良いと思う。高齢者の人生経験を若者に伝えられるようなつながりがあると良い。＜親族＞[特養入所待機者]
- ・高額ではない介護施設を作ってほしい。高い金額を払わないと良い老人ホームに入れない。[施設入所者]
- ・有料老人ホームに入居しているが、少しは医療を行ってほしい。たんの吸引や点滴程度のことをお願いしたい。結果として、手当てをしてくれるところを考えて移っていくしかない。[施設入所者]

(介護予防)

- ・介護予防対策に力を入れ、健康で生活できる人達を増やしていく施策を充実することが重要だと思う。[高齢者一般]
- ・将来のことはどうなるか分からないが、自分が努力（健康管理・人生を楽しむ趣味）をすることが大切である。[高齢者一般]
- ・今年で80歳を迎え、ようやく高齢者の仲間に入った様な気がする。自分では、生涯現役で頑張りたいと思っている。[高齢者一般]
- ・元気な高齢者が、支援を必要とする高齢者を手助けするためのポイント制度のようなものをつくり、自分に介護が必要になった時にポイントを利用できる仕組みがあれば良いと思う。若者や介護人材も少なく、また、元気なうちに他の人を手助けできる満足感や役に立っているという気持ちも味わえるのではないかなと思う。[高齢者一般]
- ・病気になる以前の予防の講習会を、専門の先生にしてほしい。[要介護認定者]
- ・デイサービスに週1回通っている。他にゲートボール等の体を動かすこともしてみたいが、80歳過ぎの初心者なのでなかなか知らないところに入りづらい。高齢者向けのサークルなどを紹介してほしい。[要介護認定者]

(社会参加／元気高齢者)

- ・体力差にもよるが、高齢になっても頼られたり、何かの役目がある方が張りを持てる。やりがいを感じられ、収入も得られれば社会の負担になっている負い目ではなく、まだ貢献できるという生きがいにも繋がる。子供世代の晩婚化、親の長寿に伴い子育てと介護が重なる様になってきた。経済的・精神的に余裕がなくなると、思いやりも希薄になってくる。生涯現役の道筋が拵がると良いと思う。[高齢者一般]
- ・いつでも気軽に喝茶を飲み、おしゃべりができるところがあると良い。[高齢者一般]
- ・出歩けないため交通関係の支援があると良い。[要介護認定者]
- ・少し休むとまた歩けるため、花壇よりもベンチがほしい。[要介護認定者]
- ・働けるうちは、働いていたいと思う。社会に何かしら貢献していると思えていることが、健康にいられるために重要なことと考えている。[これから高齢期]

(在宅療養)

- ・自分が寝たきりになった時の地域医療の充実と訪問看護の在り方を考えてもらいたい。[高齢者一般]
- ・安心して在宅医療・在宅介護が受けられるような施策をお願いしたい。[要介護認定者]
- ・高齢者は、家族の支援があり少しでも自立できる場合は、自宅で最後まで生活したいのが本音であると思うし、出来るなら家族もそうしたいし自分の将来もそう思うと思う。ショートステイなどの費用が安価なら、自宅と行き来でき、基本的には自宅に居るという希望もかなえられ、介護する側が余裕を持ち、疲労が軽減できるように思う。親の世話をする世代は、次の世代の世話も重なったり、自分たちのことも重なる時期のため、そのようなシステムができていると家族に平等な愛情がそそげると思う。[要介護認定者]
- ・孫が10代の時から20年近く介護をしている。介護開始時から要介護者の状態が重かったため、正規定時の仕事には就くことができない。赤ちゃんが必ず保健師のアクセスを受けるように、介護が必要な家庭環境に定期的にアクセスし、特に働き盛りの若者が介護をしているような家庭にはどんどんサポートしてほしい。[要介護認定者]
- ・緊急時の受入体制を充実してほしい。[要介護認定者]
- ・酸素など医療も併用できる施設を増やしてほしい。医療ケアが必要な場合、療養型の病院を探すしかない。[特養入所待機者]

- ・高齢者が増加するなか、医療と介護の連携が重要になってくる。あわせて、看護師・介護福祉士の育成、待遇改善も実施してほしい。[施設入所者]

(認知症)

- ・認知症予防に効果のある楽しいサークルを作してほしい。[高齢者一般]
- ・認知症の人を病院に連れていくこと自体が大変で、認定を受けるのに7年かかった。在宅のまま専門家に来てもらえるような制度を望む。認知症のプロの話しかけ方を実際に体験できる場がほしかった。[要介護認定者]
- ・母が認知症で、デイサービス等を利用しながら介護をしている。運悪く徘徊してしまった折には警察も頼りにならず、真夜中まで自分で捜し回った経験がある。地域や区、町などで、認知症の高齢者の把握をして、見守りや声掛けのできる体制を作ってもらえると安心できる。[これから高齢期]

(地域とのつながり)

- ・地域での連携、生活していく上での責任と役割（ごみ置場の清掃などわずかなことであっても）をしつかりと担っていくようなことが大切だと思う。孤独死や老夫婦の心中など悲しい出来事をなくすためにも、日常のふれあいが否応なくあるようなコミュニティであることが必要。そのためには町内会や民生委員の活動をもっとしつかりとし、それがうまくいくように区が補助していくような形がよいのではないか。[高齢者一般]

(情報提供／相談体制)

- ・介護保険を実際に使うとき、スムーズに進められるか不安が大きい。[高齢者一般]
- ・介護保険を受けずに日常を暮らすことができているが、日々、身体への不安が増している。健康面、生活面で身近に相談に応じてくれる場所がほしい。[高齢者一般]
- ・一人暮らしになってみて感じたのは、70歳以上で一人暮らしの人に対して定期的に訪問し、淋しさや不安感、悩みなど和らげるようにしてほしい。病気がちの人は特に夜が心細いと思うため、見守り対策をお願いしたい。[高齢者一般]
- ・高齢者夫婦や高齢の同居家族のみの世帯ではインターネットやパソコンが使えないため区のホームページなどを開くことができない。唯一の頼りは区報や区の刊行物のため、なるべく大文字にしてもらえると有難い。[要介護認定者]
- ・全て（家の状況、不動産他）を相談できる人がいてほしい。[要介護認定者]
- ・50代では介護が必要になった時というのが近い将来とは思っても切実ではない。自分が介護が必要になった時、まず最初にどこに連絡をすれば良いかもわからない。最初にどこに相談したら良いのかをもっと宣伝（アピール）してほしい。[これから高齢期]
- ・今はまだ就労しているため高齢者という意識がないが、退職後の生活の仕方をレクチャーしていただかないと、これまでずっと仕事をしてきている人間にとって仕事なくなるとそれだけで気力が失くなりそう。制度や使えるサービスも分からないのが現状である。[これから高齢期]

(その他)

- ・今は元気で友人も多いが、10年先にはどうなるか色々と心配。しかし現在は介護等は必要ないため、よく分からないことが多い。[高齢者一般]
- ・ある程度、健康であるため実感がない。しかし勉強しなければと感じた。[高齢者一般]
- ・介護の徴収からみて、実際に世話をしてくれる最前線の給料が安いということが信じられない。現場の第一線のメンバーが手厚くなるようなシステムに力を注いでいただきたい。[要介護認定者]
- ・介護保険を利用しているが、人材の質に問題がある。時給が低いと問題になっているが、その前に利用者の声も聞くべき。[要介護認定者]
- ・有料老人ホームは費用がかかる分、スタッフ数も特養より少しは多く、看護師が24時間いて安心だと思う。雰囲気も良く、満足しているが、常に金銭的な不安がつきまとう。
- ・ヘルパースタッフの人員増加と入居者を敬う気持ちをきちんと持てるような基礎的な力や丁寧さについて教育できる場を作ってもらいたい。[施設入所者]